

平成 30 年度 第 2 回灘区地域包括支援センター運営協議会

議事録

- 1 開催日時：平成 30 年 12 月 6 日（木）13：30～15：00
- 2 開催場所：灘区役所 4 階 A 会議室
- 3 出席委員：10 名（欠席委員 2 名）、傍聴人なし
- 4 議題
 - (1) 区運営委員会の実施回数にかかる見直しについて
 - (2) 平成 30 年度上半期あんしんすこやかセンターの運営状況について
 - ①各センター月別実績報告書
 - ②あんしんすこやかセンター連絡会等の実施状況
 - (3) 平成 30 年度上半期介護予防ケアマネジメント対象者が
要介護状態となった場合の取り扱いについて
— 指定居宅介護支援事業所の選定における確認書の受理状況 —
 - (4) 平成 30 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告
 - (5) 特定事業所へのサービス集中率について 【非公開】
 - (6) 地域包括ケア充実のための事業目標について 【非公開】
 - (7) その他

5. 主な意見と事務局回答

議題（1）について

（委員）；開催時期は決まっているのか？

（事務局）；今のところまだ決まっていない。年度の後半に開催予定とは聞いている。

議題（2）

（委員）；特殊詐欺について、一度被害に遭った人が何度も被害に遭うことはあるか。繰り返し被害に遭うなら、一度被害に遭った人は ATM を使えないようにしたり、銀行に入れない、などの対応策が必要。認知症高齢者に関係なく被害に遭うのが現状。

（委員）；犯人が捕まることはあるのか。

（事務局）；被害に遭ったが捕まったケースがあった。

（委員）；逮捕された場合、被害額は返ってくるのか。

（事務局）；物を購入した場合、クーリングオフの制度はあるが、振り込め詐欺などは返って来ない場合が多い。

（委員）；銀行 ATM などは、指認証など率先して登録することが対策になる。コンビニは指認証がないが一度に高額を下せない設定になっている。

（事務局）；高齢者が安心して住みやすい街を目指す取り組みの一つの課題として、地域ケア会議等へ反映させたい。

議題（４）

- （委員）；大石・六甲あんしんすこやかセンターは同じ法人だが、同じ敷地内にあるのか。
（事務局）；一つの法人が別々の圏域を担当し、別の場所に位置している。

議題（６）

- （委員）；最近は民生委員が不足している問題がある。
（事務局）；現在欠員のある地区がある。来年４月が改選なので、広報紙で募集するなどの対応を検討している。
（委員）；防災コミュニティなどで感じることは、高齢者は状態の変化が早いので、早い対応が必要と感じた。
（事務局）；70%近い高齢者率の圏域がある。サロンを立ち上げ、高齢者の支援などに取り組んでいる。

（委員）；今までセンターは、地域を漠然と全体として捉えているように感じたが、今年度はポイントを絞って目的・計画を立て取り組んでいると感じる。少しでも地域の特徴を捉え、関わりをしようとしていると感じた。
（事務局）；地域診断を行い、活動につなげようと、今年度から様式を変えて取り組んでいる。取組み方についても、小さい単位で取り組む方がうまくいくところは、棟ごとの対策などの計画を立てて行っている。

（委員）；サロンの内容や進め方は？
（委員）；喫茶はコーヒーやお菓子などを出して高齢者同士で交流をする場になっている。
（委員）；男性の参加者は？
（委員）；男性はあまり来ない。囲碁などには多くの男性参加者が見られる。
（委員）；独居男性が問題になることもあるので対応策が今後必要ではないか。出てこない人に対し、声かけをしあって出てきてもらうなどの対応が必要だと思う。

議題（７）

- （委員）；認知症高齢者への声かけは難しい。タイミングよく声をかけることが難しい。
（委員）；声をかけることで不審に思われなかつたらと思うと、声をかけづらい。
（委員）；迷っている人を見つけた場合はどうすればよいか。
（事務局）；場合によっては、警察へ連れて行くという対応をしている。平成 30 年度から 32 年度まで全センター圏域で訓練を行うことになっているため、地域で行う場合はご協力をお願いしたい。

（委員）；デイ利用中にかかりつけ医へ連絡せず救急搬送をされた人がいた。独居高齢者だったため、病院からの帰宅が難しかった。搬送する前に主治医へ連絡する方がよいと感じたケースがあった。
（委員）；大きな病院が主治医の場合、医師へ連絡することが難しいことがある。
（事務局）；サービス利用時の急変時の対応について、事前に関係者で話し合うことが必要。